

ドナウ通信

在ブダペスト

日本人会会報

御挨拶

1993年5月
ブダペスト商工会幹事

三菱商事(株)

村岡 慶之輔

街路樹が小さな薄緑の葉を沢山つけ、さくら、アーモンド、れんぎょう、こぶし、水蓮など沢山の花が一斉に咲き今年もまたブダペストで一番良い季節となりました。皆様如何お過ごしですか。

4月から半年間私が日本商工会の幹事を務めることになりました。どうぞ宜しくお願い致します。

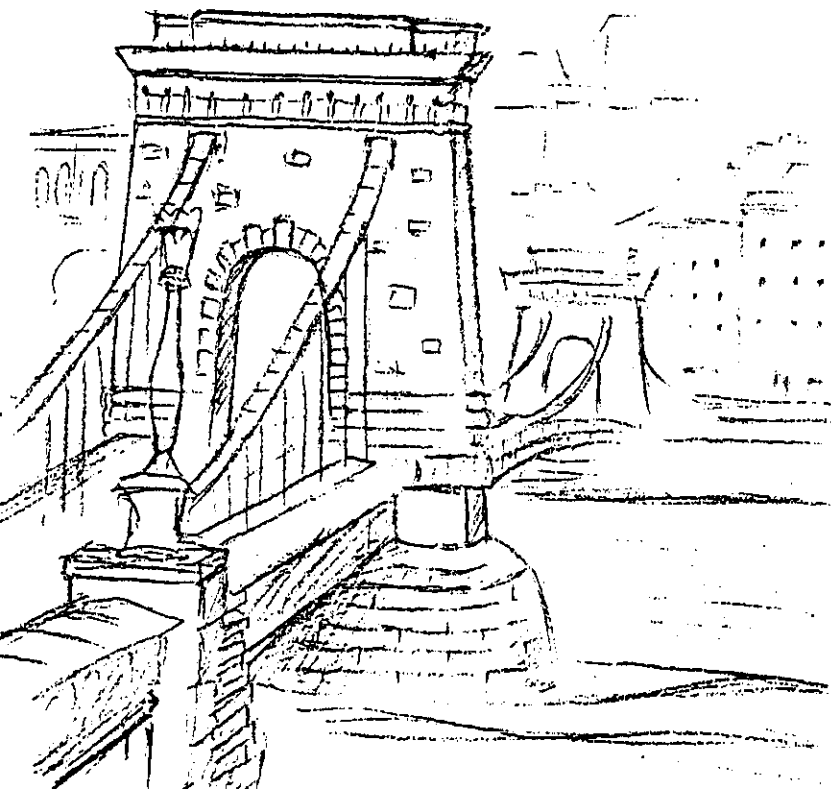
市場経済への改革が始まって以来、悪化の一途を辿って来たハンガリーの経済も暫く下げ止りの兆候が見え、明るい材料も出てまいりましたが、本当に産業が再構築され経済が発展に向うにはまだ苦難の時が続くことでしょう。

西側の店が増え、輸入店が増え、生活は便利になりましたが、反面急激な物価の上昇で生活は苦しくなりました。又、自由社会となった反面、種々の犯罪が増えました。こうした中で仕事に於いて、日常生活に於いて皆様御苦労されていることと思います。

しかし、ハンガリーにとってこれは通らなければならぬ道で、この試練をくぐり抜けた時、きっと暮み易い近代社会が出現するものと確信します。

この国に住み、仕事をする者として、仕事を通じ、社会生活を通じ、少しでもハンガリーの為に貢献出来ればと念願しております。

皆様の御健勝をお祈りします。



人物往来

(敬省略)

大使館関係

離任

武井 啓次

田中 宏

著任

高橋 康雄

小平 功

商工会関係

離任

石川 清孝

松原 昭博

加藤 力也

岡部 壮一

永井 克彦

海波 俊夫

辻本 貴彦

松下電気

ソニー

大和証券

大和証券

豊田通商

興新物産

丸紅

1月

1月

2月

3月

3月

4月

4月

著任

古川 淳

林 勝則

志治 芳弘

大橋 栄

三木 康平

浅野 陽一

松下電気

豊田通商

豊田通商

興新物産

丸紅

伊藤忠商事

12月

3月

3月

2月

4月

12月

補習校教員の紹介

専任教員

森本 清二

梅村 欣世子

西川 啓子

非常勤講師

相馬 笙子

中山 幸子

今年の抱負・プロフィール

森本 清二

早いもので任期の最後の年になりました。今年には校舎移転があり大変な年になりました。

今年にこそですが、学習環境を整え、子供達が充実した学校生活を送れる様

にしたいと思っております。よろしくお願

いいたします。

梅村 欣世子

専任教師になって2年目です。子供一人一人の個性を伸ばし、補習校の生活を楽しませたいと思っています。

西川 啓子

今年から専任になりました。一年半ほど非常勤で勤めましたが、気分を新たに頑張りたいと思います。

相馬 笙子

長年日本の小学校で教鞭をとってこられたベテランの先生です。厳しさの中にも、ユーモアや優しさがあり、子供達に信頼されています。

中山 幸子

8年間日本の養護学校で美術を指導されていた先生です。教育熱心で、一人一人の子供を大切にしながら指導されています。

日本人補習校

理事会・運営委員会

△理事会▽

理事長 瀬川 隆生 (野村証券)

理事 村岡 慶之輔 (三菱商事)

理事 桑島 有一 (ニチメン)

理事 山崎 暢久

(アグロファーム)

理事 高橋 康雄 (大使館)

理事 鈴木 友子 (保護者代表)

理事 石崎 京子 (保護者代表)

△運営委員会▽

運営委員長

山崎 暢久 (アグロファーム)

運営委員長

玉木 進 (マジヤール)

SUZUKI

運営委員

江浦 公彦 (大使館)

運営委員

中山 昌秋 (大使館)

運営委員

野原 律子 (保護者代表)

運営委員

清川 幸美 (保護者代表)

日本人会より

1993年度ハンガリー日本人活動を次の通り予定しておりますので、皆様が多大なご協力及び、ご参加をお願い致します。

活動内容 回数/日時

ドナウ通信 4回/4半期毎

演奏会 2回/4月 11月

ソフトボール大会 1回/5月16日 (予定)

遠足 1回/6月13日 (予定)

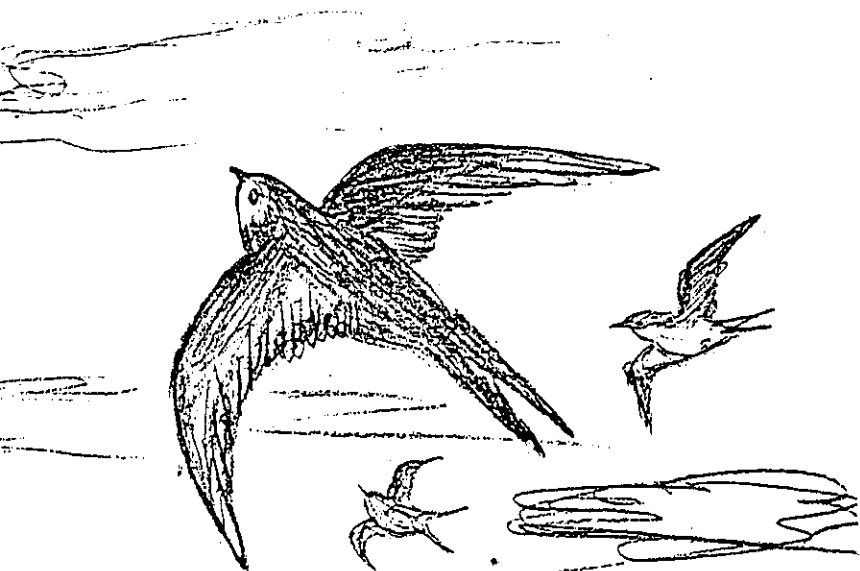
運動会(補習校共催) 1回/7月11日 (予定)

総会(寿司パーティー)

1回/12月

日ハン友好協会コンサート

1回/年1回



大使館からのお知らせ

盗難に御注意!

本年も夏期を迎えるにあたりまして次の点につき、皆様にご注意をお願い致します。

昨年は、夏期の盗難が大変多かったです。これら、被害の殆どがレストランでの食事の際テーブルを離れたすきにテーブル、椅子に置いてあった貴重品が盗まれるというケースが被害の大半でした。また、最近ではバス、地下鉄、駅構内など乗り物に関係しているところで、すり盗られるという被害の報告もあります。

貴重品については、特に注意していただくとともに、一つのバッグにはまともず洋服の内ポケット等分散して身につけるなどお薦めいたします。

また、皆様のお知り合いの方が、当地を訪れた際は、是非一言注意を呼び掛けてください。

♪当面の文化行事の予定♪

日本国大使館では、当面以下のとおり、文化行事を計画しています。

皆様の御参加、ご来場をお待ちしています。また、各行事の英語版、ハンガリー語版の案内をご希望の方は、大使館に御連絡願います。

(1) 留学生音楽コンサート

【内容】 リスト音楽院留学中の日本人学生などが日頃の成果を披露する。

ハンガリーの若手音楽家も参加。

【日程】 4月24日(土) 18:30

於・ ビガドー (Vigadó tér 2) 4階

【主催】 日本人会(大使館後援)

(2) 歌舞伎レクチャー・

デモンショレーション

中村又蔵一行8名(俳優3名、

長唄1名、三味線2名、衣装1名

マネージャー1名)

【内容】 着付け、隈取(化粧)、

かつらなどについて、歌舞伎俳優自身の解説を交えて紹介する。

①踊り「藤娘」

②化粧「隈取」

③舞踊劇「五条橋」

【日程】

・ 5月20日(木)

於・ Budapest 国防省文化センター

(Stefania u. 34)

・ 5月21日(金)

於・ Vesperti Town Hall

【主催】 国際交流基金(大使館後援)

(3) 生け花デモンストレーション

草月流ロンドン地区監督、清滋雄を迎え、生け花のデモンストレーション及び講習会を開催する。

【日程】

・ 6月1日(火)

於・ Kecskemet 園芸大学ホール

・ 6月3日(木)

於・ Budapest 国防省文化センター

(Stefania u. 34)

【主催】 国際交流基金(大使館後援)

ハンガリーに対する文化

無償協力機材贈呈式の模様

ハンガリーの文化・教育のレベルは高く、将来的には自力で一層の発展が見込まれていますが、他方、経済改革の結果として、最近文化、教育活動に対するハンガリー政府の補助が大幅に削減されています。このため、老朽化した機材の買換えや新しい機材の入手がままならず、そのために世界に誇る文化・教育活動にも重大な支障をきたすに至っています。

このような諸改革実施に当たったの過渡期にあるハンガリー文化・教育活動の振興を側面的に支援するため、日本政府は1991年度より文化無償協力を実施しています。

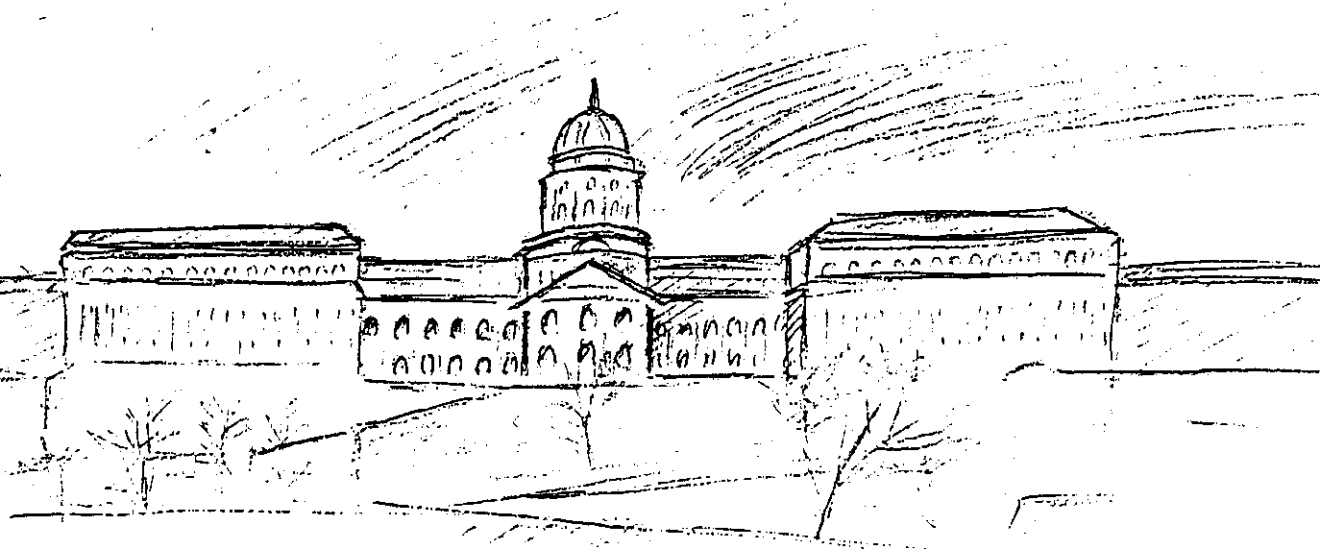
先の4月2日にその第一号の協力案件である「ハンガリー国立交響楽団に対する楽器機材の供与」の機材贈呈式

を実施しました。当日は、同交響楽団の常任指揮者であり、また両国の文化交流の象徴的存在でもある小林研一郎氏の指揮によるコンサートの前に、堤功一日本国大使、Tóth Sándor ハンガリー文化教育省文化担当局長代理及び Szécsi László ハンガリー国立交響楽団代表のスピーチに続き、目録贈呈を行いました。

日本政府から寄贈された楽器は吹奏楽器、打楽器が中心で総額約四三〇〇万円相当です。当日は、寄贈された楽器の多くを使用する初めてのコンサートということもあり、非常に意義深い贈呈式となりました。

第2号の案件は、ハンガリー国立オペラ座に対する音響・映像機材の供与とすることが既に決定されています。

日本大使館としても、引き続き、優良案件の発掘に努めていきたいと考えています。



補習校便り

長かった冬も終りを告げ、4月に入ってからはずっかり春らしく、暖かくなりました。補習校では、4月3日に入學式、始業式が行われ、今年は小学部4名、中学部5名の新入生を迎えました。1週間前の卒業式は肌寒く、暫も降っていましたが、入學式の日はからりと晴れ上がりました。きっと、春風のように初々しい新一年生が春を運んできてくれたのでしょう。

今までは圧倒的に男子が多い補習校でしたが、今年からは男女比が逆転、女子の方が多くなりました。しかし、本校の女子は男子顔負けの元気の子が多く、補習校はこれまで通り活発な雰囲気には満ちています。

進級した子供達は新しい担任の先生にも慣れ、どの子もお兄さん、お姉さんらしく新1年生の面倒をよく見ています。また、1年生も、ついこの間入

学したばかりなのが信じられないほどすっかり学校に溶け込んで、休み時間には学校中に子供達の元気な声が響き渡っています。

ところで、これまで大使館の御厚意で、建物の一部を無償でお借りしていましたが、近く行われる大使館の移転にともない、補習校も5月末に2区のトルクヴェース通りにあるモーリツ高校に移転することになりました。最初に述べた入學式もモーリツ高校で執り行われたのですが、子供達は、新しく広々とした校舎に接し、移転の日を心待ちにしているようです。しかし、それと同時に、今まで慣れ親しんだ大使館内の教室を離れることに一抹の寂しさも感じているようです。ドッジポールが大使の車にぶつかったり、隣の家の庭にはいったり、休み時間に大声で騒いだり……と、今まで大使館の方々にのご迷惑の掛けどうでしたが、いつも暖かく見守ってください、感謝の念に堪えません。長い間本当にありがと

うございました。

移転後は、今までのように自分たちだけの教室ではなくなり、自由気儘に振る舞えなくなります。また、ハンガリー人の学生や学校職員と接することも増えるでしょう。公共心、道徳心などこれまで補習校の子供に少し欠けていたものを身に付けるいい機会だと思われまます。モーリツ高校の人々が日本に良いイメージを持ってくれるよう、頑張っていきたいと思えます。

離任にあたって

ブダペスト日本人補習校
専任教師 金子 純
白い桜の花が咲く中、運営委員の方々の車に乗せられて、フェリヘジからブダペストまでドライブしてきたのがまるで昨日のことのようです。

この四年間、色々な人に巡り逢い、たくさんの方々にお世話いただきました。専任期を全うすることができました。若いということ、ずいぶん大目に見

ていただいていたことも多々あったはずなのに、どの方もいつも暖かく時には厳しくして下さったのは、とても有り難いことでした。この場をお借りして改めてお礼を申し上げます。

ところで日本人にとって春は、あらゆる意味に於いて意味深い季節です。昨日への訣別や別れ、そしてまた明日への希望を内包しています。

五月生れのせいかどうか分かりませんが昔から私はこの季節が大好きで、春がやってくるとうわくわくして、鳥のようにさえずりたくなります。大好きな春にまた新しい旅を始めることができて、今はとても幸せを感じます。

ハンガリーの国民英雄的詩人にペトフィ・シャンドールの詩の中に「君は春が好きだ」という詩があります。二年前、文部省派遣の教諭が帰国されるときに、補習校のOBが日本語に訳してその先生に贈りました。

少々長いですが、ここにその訳詞を紹介し、お別れの言葉の代わりにしたいと思います。

「君は春が好きだ」

君は春が好きだ

春は君の命

僕は秋が好きだ

秋は僕の命

君の紅い頬はバラのようだ

僕の沐んだ瞳は弱い陽射しのようだ

直ぐ咲きは凍て付く冬

寒さと悲しみが

待ちかまえている

やがて

静寂の世界が

僕を覆いつくすだろう

それでも

君は春が好きだ

春は君の命

僕は秋が好きだ

秋は僕の命

僕の一步後にも

君の一步先にも

夏が待っている

暖かい

夏が待っている

君が一步進めば

僕も一步戻ろう

君が春を捨てれば

僕も秋を捨てよう

僕は

君が好きだ

君は僕の命

君は

僕が好きだ

僕は君の命

私は未だ春を捨てられずにいますが多くの家庭に接する度にこういう人生も素敵に思えてきました。いつか大好きなものよりもっと大切な人に巡り会った時、すべてを捨てられる情熱を持ちたい、持てたらいいと思えます。

こんなロマンティックな詩人を生んだこの国とこの詩に巡り会わせてもらえたこと、出会った全ての人と出来事に、心から感謝します。

「犬バカとジャッキー君」

伊藤忠商事株式会社

ブダベスト事務所所長

草薙 秀碩

最初の一年間は、家庭の事情で単身駐在を決め込んだ私にとってシーンとした我が家に帰った時の孤独感と淋しさに堪えられず、犬を飼う決心をしました。今から6年程前の1987年5月頃の事です。前任地のプラハで果たそうとして実現できなかった事です。単身駐在でも、当地の仕事はハンガリー国内だけがカヴァー地域ですから、出張があっても大体日帰りでごなせるという確信が出来た事、又、ブリーダーから出張等で不在となる時は、何時でも預かってくれるという云質を得たからです。私の幼年期には、柴犬、紀州犬などを飼った事があり、又、家内の方も、コッカー・スパニエルを飼っていた経験がありますが、単身での動物飼育となると大変です。

家の中で飼う事から、よだれを滴らす毛の長い大型犬は、とても面倒を見る自信がなく、小型で且つ、スムース・ヘアに絞って、犬種の選定を始めました。色々検討結果、ブダベストから2号線ヴァーツ方向30kmの小さな村のブリーダーが、生後6週間のダックス・フンドを売りに出しているのを、『愛犬新聞』で会社の秘書が見つけた。メス3匹、オス2匹、合計5匹が生まれて、ブリーダーは5匹分の血統書を準備していましたが、どの名前がどの犬とは特定しておらず気に入った名前と気に入った犬を選んでもらってよいとのことなので、私は最初に呼び安い名前を選んで後からオスのおとなしそうな方に決めました。由緒ある(ブリーダー曰く)、血統書付きのグランプリー(姓)、ジャッキー君(名)の誕生です。スムース・ヘアで色は濃鹿色(Deep Teal colour)です。家に持ち帰ってから最初の2/3日は、夜毎に母を慕って悲しそうに泣い

てばかりいましたが、一週間もしない内に慣れてきました。さて今度は排泄が大変です。何せ鍵っ子ですから、日中私が不在の時は寝室とバルコニーだけが彼のテリトリーです。寝室のジュータンはその後オシッコ臭くて処分しましたし、又、ベッドの一部をかじられて大被害を受けました。生後5/6か月で、乳歯から永久歯にはえかわる時に歯がかゆいから靴やスリッパ、近辺の物をなんでもかじりたがる訳です。一年もしないうちに家内が着任してからは、昼間は家内が面倒を見てくれる様になったので一安心です。ジャッキー君の食事は一日一回夕方のみです。お腹が空くと、台所に入りマットをかいて、食物を欲しいという意思表示をします。又、時には一声ワンと叫ぶ事もあります。食事を与えるのは家内の分担ですが、骨付きの牛、豚、又は、鳥のもも肉、レバー、砂づりなど全て煮たものしか与えません。加工食品のドッグ・フードは一切食べ

てくれず、大変手間がかかります。

昼寝、散歩、ボール遊びがジャッキー

君の最大の楽しみです。家内と散歩に出るときは門を出て左側へ、私と散歩する時は右側へといった風に、

大体散歩コース(約5〜20分くらい

15〜20分)が決まっていますが、彼はこれをチャンと心得ております。土日は朝昼晩と3回、週中は朝と晩が私

で、昼が家内という分担になっています。6年間も同じ散歩道を歩いてい

すと、近所の人や犬を連れて歩いてい

る人達は勿論の事ですが、バスの運転手さん、病院の守衛さん、パキニム

・カーでごみ集めに来る人夫さん運と

出くわす時は、何時も挨拶をかわします。ハンガリー人は一般的に人なつこく、外交的だといわれていますが本

当にそうだと思いません。散歩を通し、

いろんなめずらしい動物や、鳥と出く

わした事がありました。動物では、近くの原っぱでキツネ、イタチ、ハリネズミ等、又、カササギ、木つつきなど

そう珍しい鳥ではありませんが、私の家の近くではよく見かけます。

ダックス・フンドは19世紀後半の頃

ドイツ人が穴熊ハンティング用に改良したと物の本に書いてあります。足が

短いから常に高い所が大好きで、私共

がリヴィングに居るときは同じ椅子か

又は、別の椅子に上がって寝転んでいます。又、夜寝る時は、私共のベッド

に上がって来ます。イビキ、寝言、齒

ギシリは一人前でそれによく寝返りを

されるので睡眠不足となる事が時々

あります。

ハンガリー人は大変犬好きです。かかりつけの獣医によると、フダベスト

だけで14万匹の犬が飼われているそうで犬種としては、スパニエル、シープ・ドッグ類が一番多いそうです。獣医

さんはフダベストに約220名もいるそうです。子犬の野外即売会もよく行われています。モスクワ市場の近くの道路で100匹位の道をブロックして

しています。いろんな種類の犬が見かけられますが、一匹大体20、000

FT位です。(ジャッキー君は6年前で

すが、7、000FTでした。)又、ド

ッグ・ショーもよく行われており、今

年は5月7日/8日と、ナショナル・スタジアムで「ヨーロッパ・ドッグ

ショー」が開催される予定と聞いております。

犬は、非常に幸せな動物だと思いま

す。人間に忠実なるが故に、常に人間の

の伴侶として一番人間の近い所に居ることが出来るからです。品種が絶えない様に常にブリーダーが毎年、毎年、

新しい世代を創り出し、永遠に人間の仲間として生存して行く事でしょう。

ジャッキー君は近々、私共と共に日本に帰ります。気楽なのんびりとした

フダベストの生活から、苦勞の多い日本で第二の人生を迎える訳です。帰国後は芦屋川の河川敷が毎日の散歩道となります。

「痛風」体験を解体する

薮石弥太郎（医学史専攻）

痛風はローマ時代から知られた病気ですが、飽食時代の日本人にとって、もっとも警戒すべき病の一つです。とくに30才を過ぎたサラリーマンは、すべて痛風予備軍と考えて間違いないありません。まして、フォアグラや牛肉などに目のない人には、ハンガリーは痛風奨励地のようなものです。10年以上も通風と付き合ってきた者として、ふつうの医者には分からない痛風の見分け方、痛風への対応、痛風の原因について、日頃、痛風に苦しむ浅学が体験情報をお届けします。

痛風の誤解

覚えないのに、朝起きてみたら、なんとなく足の甲、指先、踝、踵あたりにだるい痛みのようなものを感じたことはありませんか。それが2〜3日で何もなかったように消え去り、また

数か月経つと同じ症状が出たという記憶はありませんか。こういう経験もち、かつ健康診断で尿酸値が高いですよといわれた人は、確実に「痛風」にかかっているといえます。

「尿酸値は高いが痛みがないからかわまない」と考えていたら大変です。痛風が怖いのは痛みからではありません。本当に怖いのは痛みが出ないにもかかわらず、尿酸結晶が臓器に付着し、これが特に腎臓の機能を低下させることです。ある意味で、痛みはシグナルの役割を果たしています。その危険の知らせが届かないと、後で苦しむことになります。

「痛風は足の親指に出る」とばかり思っただけで、いらいらする人はいませんか。

痛風の専門医は少ないですから、内科医でも足の親指に出るのが痛風と思っただけでいる人が多いのですが、これは完全に間違いです。膝、腰の関節部に痛風の痛みが出ることもまれではありません。しかし、多くの場合、これは

別の怪我と合併して発生することもあり、経験のない医者には判断ができません。経験的にいえば、症状が体の上にいけばいくほど痛みがきつくなります。私の場合、膝に痛風発作（痛みの発生）が起きたときはバットで殴られたような痛みが1晩続きました。

「痛みが消えれば痛風がお終い」ではありません。痛みの発生にかかわらず、血中の尿酸濃度が高い限り、臓器への尿酸結晶の沈着は進行します。高尿酸状態が続く限り、痛風症（高尿酸血症）を患っているのです。しかも、いったん高尿酸になると、自然に正常水準に戻ることがまれなので、痛風は一生の病といわれるのです。

痛風の原因と発作の発生契機

痛風の原因はほぼ説明されています。簡単にいえば、人間の新陳代謝で古い細胞が壊れるときに、細胞の核も分解されています。細胞核はアミノ酸でできた蛋白質で、これが分解される時に、酸性物質

（核酸）が分離し、さらにこれが分解されて、最終的に「尿酸」という物質が形成

されます。この尿酸の血中濃度が高いときに、高尿酸血症と呼びわけです。

蛋白質を取り過ぎる、あるいは分解力と非出力が弱くて尿酸を対外に排泄できないことが原因です。

猫や犬は尿酸をもう一段分解して、尿に容易に溶ける物質として排泄できる酵素をもっているために、痛風はまれにしか生じないとされています。また、女性の場合にも痛風は少ないのですが、男にはない酵素が働いているのかもしれない。

経験的に、レバー等の臓物類、牛肉ロブスター、イカや海老などの甲殻類を多量に消費する地域に、痛風の発生が多く見られます。ですから、このような食事を好まれる方はほぼ100%、高尿酸血症になっているはずですよ。

原因がはっきりしている割には痛みの発生メカニズムは明らかではありません。痛みそのものは尿酸結晶が関節や軟骨にたまり、それが神経を圧迫するからですが、どのような契機で尿

酸結晶がたまるのかというプロセスは十分に解明されていません。

疲れや、お酒の飲み過ぎが引き金になるといふのはよく知られた事実ですが、しかしそういう状態が常に発作を起すわけではありません。私の経験では、捻挫をした、膝を痛めたという時に、その弱っている箇所に尿酸結晶がたまることがあります。このことを痛風の知識の無い普通の外科医に説明しても納得して貰えません。たいした捻挫でもないのにある時点からじつとしていても痛みが消えず、その箇所が赤く腫れてみえる場合には、痛風の発作が合併して発生していると考えるべきです。この場合いくら冷やしても痛みは緩らぎません。

発作への対応

痛風の恐れがある人は、せめて痛風の言葉を英語、ドイツ語で覚えておきましょう。英語でgout、ドイツ語でGicht、ハンガリー語ではkőszvényです。ハンガリーではリ

ューマチも同じ言葉で表現する場合がありますが、これはまったく別の病気ですから、注意しましょう。旅行先に痛風の痛みが出た時には、これを医者に伝えるのです。

しかし、やはり痛風の専門医でない処方薬を誤ります。昔、アメリカでコルヒチンの大量投与を受けましたが、これは現在では専門医のあいだでは好ましくない処方とされています。コルヒチンは痛風の前兆時に飲むと発作を阻止できることから、今でもこれを愛用している人は多くみられます。研究会で一緒になった朝日新聞編集委員の石川真澄さんもコルヒチン派で、常にこれを持ち歩いていらっしやいます。

コルヒチンは細胞分裂を抑制することで尿酸の発生を制限する薬ですからこれを大量に服用すると、胃腸を完全にやられてしまいます。それに、いったん発生した痛みをこれで消すことはできません。いくらコルヒチンを服用しても効果がないばかりか、胃腸がや

られるだけになります。

最近では、痛風の発作が発生してからは、炎症鎮静剤のインドメタシンを使うことが多いようです。外科手術のあとに使用される薬ですが、日本ではインテパンの商標で売られています。テニス肘用のインテパン軟膏も同じです。私の経験上、痛風の炎症の鎮静にインドメタシンはかなり有効に効きます。ただし、これも強い薬ですから、飲み方に気を付ける必要があります。いずれにしても、発作への対応は一時しのぎです。発作が頻発する場合には、必ずアロプリノール（尿酸形成抑制剤）か、尿酸排泄促進剤を常時、服用することが必要です。

6か月間の精進料理で尿酸値を平常値まで下げた友人がいますが、普通これだけのことはできません。ですが、平素から食生活に気をつけることは大切です。動物性蛋白の取りすぎに注意し、適度な運動で新陳代謝をよくすることが、最大の健康法です。

掲示板

★譲ります

BMW・520i (ワインレッド) を格安で譲ります。詳しくはお電話にて。

ミーツァール 雅子

☎226-1879

★配達します

豆腐、及びもやしを、毎週水曜日に各御家庭、会社まで配達致します。

但し、豆腐5個、もやし5kg以上よりブダベスト市内に限ります。

△価格▽

・豆腐 1個 120 FT

・もやし 1kg 150 FT

連絡先

Beta Istvin

☎188-7413

★新メニューのお知らせ

レストラン・セナラでは、従来のメニューに加え、ブルコギ・メニューを加えました。

牛、鶏肉の焼肉、スープ、サラダ、ご飯で八三〇円となっています。是非、お試し下さい。

Szenara ☎142-6313

編集室

春季号をお届けします。今号より挿絵はカブ・恵子さんが担当します。

草薙さん、ジャッキー君とのお別れが近づきました。すでに帰国された金子先生からもお別れの言葉をいただきました。

夏季号は6月10日の原稿締切です。FAXでの原稿を常時受け付けています。

266-4967 (盛田 常夫)